



「きずな」って？



★「きずな」ってどんな教室？

日本語がわからない外国につながる子どもたちが、日常生活に必要な日本語の力を「話す・聞く」「読む・書く」のカリキュラムに沿って、短期間（3ヶ月～4ヶ月）で習得することを目的にした教室です。

「きずな」は津市立敬和幼稚園の中にあります。「きずな」に通えない子どもたちのために、その子どもが在籍する小中学校で日本語を学ぶ「移動きずな」もあります。



★いつ、どんな勉強をしているの？

9時から11時15分まで勉強します。1時間目は「話す・聞く」の勉強、2時間目は「読む・書く」の勉強をしています。その後の「きずなタイム」では、ゲームや遊びを通して日本語を覚えたり、日本の学校生活や日本の行事について聞いたりしています。

現在、市教育委員会職員他、ボランティアが指導にあたっています。ボランティアには多くの皆さんに登録していただいているので、1対1の指導が可能になっています。

その後は、それぞれの通っている学校に帰り、学校の人々と一緒に給食を食べたり、昼休みを一緒に過ごしたり、午後からの授業を受けたりします。



★「きずな」ってどういう思いでつけられたの？

人はさまざまなつながりの中で生きています。遠い国からこの津市に来た子どもたちに大切にしてもらいたいものは、人とのつながりです。日本の学校の友だちとのつながり、先生や周りの人とのつながり…。そんなつながりを深めていくために、この教室で日本語を覚え、人と関わることの楽しさを実感してほしいと願い「きずな」と名づけました。また、この教室では大人もみんな「チーム」を組んで、外国につながる子どもたちの日本語の力を育てています。通っている学校の先生との連携を密にしたり、教室の中で子どもたちの状況を共有したりし、子どもたちを取り巻く大人もまた、「きずな」を大切にしながら指導にあたっています。

